フードシステムからデータ駆動型フードシステム(スマートフードチェーン)へ

フードシステムをCPS化

CPS時代は「質の悪いデータによるリスク」が高まる

データドリブンジャーニー

- Data: それ単体では意味を成さない記号や信号
- Information: Dataを組み合わせ、意味を持たせたもの
- Knowledge: Informationを分析して体系化したもので、 人に論理立てて教えることができるノウハウや知見
- Wisdom: Knowledgeの中でも行動の理由となるもの
- Value: Wisdomを生かした行動によって得られた価値



データマネジメントのプロセス

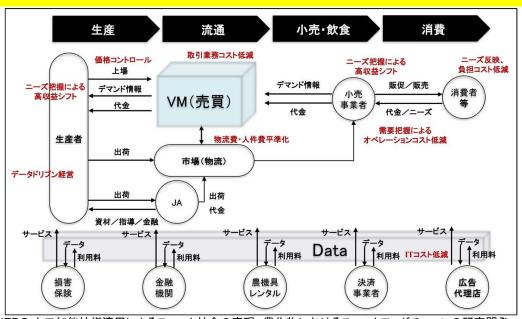
- DataからInformationを「整備」
- InformationをKnowledgeへと「知識化」
- KnowledgeをWisdomからValueへと 「価値化」

データのサプライチェン構築

デジタルマーケティング4.0を用いた CDP(Customer Data Platform)構築と消費者心理解析

BIGデータのリアルタイム分析に対応するため AI/機械学習を援用

ステイクホルダーマップ(ToBe像例示)



NEDO 人工知能技術適用によるスマート社会の実現 農作物におけるスマートフードチェーンの研究開発 昨年度研究成果共有と本年度活動紹介 2020年8月4日

フードシステムで必要な機能

- •価格形成機能
- -需要調整機能 -品質評価機能
 - •代金決済機能
- •物流効率化機能
- •情報伝達機能

 $G \times E \times M \times M \times P =$ 生產性/採算性 テロワール情報(デジタルテロワール)

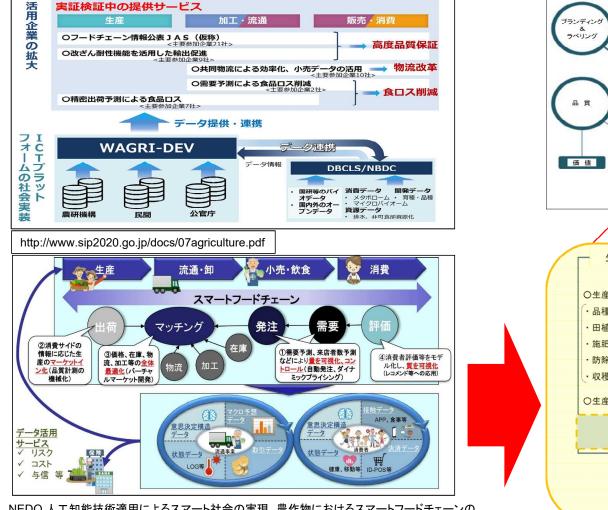
「日本のお米」の主な流通経路





スマートバイオ産業・農業基盤技術

ースマートフードシステムをフレームー



NEDO 人工知能技術適用によるスマート社会の実現 農作物におけるスマートフードチェーンの 研究開発 昨年度研究成果共有と本年度活動紹介 2020年8月4日

